

デジタル技術を活用し、ひろしまの農業を変えていく

「ひろしま型スマート農業プロジェクト」（愛称：ひろしま seedbox）

①R4年度プロジェクトの参加企業を募集します（募集期間 12/15～1/18）

②R3年度プロジェクトの実績報告会を開催します

（開催日 12/22（ひろしま seedbox セミナー内で実施））

広島県では、農業分野でのDXの一環として、収益性の高い経営モデルを確立する「ひろしま型スマート農業プロジェクト（ひろしま seedbox）」を実施しています。

このプロジェクトは、実証費用を県が支援し、県内農業者の畑を実証フィールドとすることで、データを収集しながら、技術のカスタマイズを行い、最長3年間の取組で、経営モデルを確立するものです。

このたび、R4年度プロジェクトの実施に向けて、スマート農業技術の導入効果が高い3つのテーマを選定し、参加企業等を募集します。

また、R3年度からスタートした3つのプロジェクトの取組状況について、報告会を開催します。

1 R4年度プロジェクトの参加企業等の募集について

（1）公募する実証プロジェクトのテーマ

① トマトの栽培から販売までの効率的な一貫体系の構築

〈例〉AIとカメラを活用した生育診断や病害発生状況の把握など広島発の技術開発

② レモン等の大規模経営の実現に向けた効率的な一貫体系の構築

〈例〉果実を傷つけずAIを活用した画像診断による選果を行う広島発の技術開発

③ 100ha規模の水稲栽培の実現に向けた効率的な生産体系の構築

〈例〉広島県の分散した水田でも活用できる衛星画像を利用した低コストな水管理技術の開発

（2）スケジュール

公募期間 令和3年12月15日（水）～令和4年1月18日（火）

審査結果発表 令和4年2月15日（火）

実証プロジェクト開始 令和4年2月下旬

（3）公募対象

スマート農業技術を持つ全国の企業、団体等

（4）実証プロジェクトの概要

- 県内の農業者の畑を実証フィールドとし、企業等が農業者等の協力を得ながら、データを収集し、技術のカスタマイズを行います。
- 実証の期間は最長3年間とし、県内で導入可能な経営モデルの確立をゴールとします。
- 実証フィールドでの技術の開発状況の展示や、確立された経営モデルの成果発表会を行い、県内の農業者への導入を促進していきます。

（5）公募内容

応募方法などについては、以下のURLで公表します。

公式ウェブサイト：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/82/sumano-r4idea.html>

ひろしまスマート農業プロジェクト

検索



2 R3年度プロジェクトの実績報告会について

別紙「ひろしま seedbox セミナー」のチラシをご参照ください。

【参考】R3年度実証内容

テーマ	企業グループ (※は県内企業)	実証プロジェクトの概要		
		特徴	主な実証技術	実証地区
ほうれんそう及びこまつな の栽培から販売までの効率的な一貫体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・三栄産業(株)※ ・(株)ニッポー ・山梨大学 ・(株)CuboRex 	中山間地域の狭小ハウスに合わせた低コストな栽培管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・自動搬送・自動追尾ロボットによる搬送の省力化 ・収穫予測システムによる有利販売 ・経営管理システムによる作業工程の可視化 ・データ駆動型ハウス管理による収量向上 	山梨郡 安芸太田町
カット用青ねぎの露地栽培 における効率的な一貫体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ユニシス(株) ・(株)NTT アグリテクノロジー ・三栄産業(株)※ ・(株)ニシザワ ・(株)メディカル青果物研究所 	分散した農地に対応した作業の省力化、生産と流通の情報を連携させるシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・自動収穫機による収穫作業の省力化 ・自動かん水システムによる省力化及び収量向上 ・収穫予測システムによる労働力の適正配分と効率的な販売計画の作成 ・需要予測データの生産計画への反映 	東広島市 志和町
ぶどうの大規模栽培 の実現に向けた効率的な作業体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ※ ・山梨大学 ・ドリームファーム(株) ・arrow(株) ・ひろぎんエリアデザイン(株)※ 	新規雇用者でも正確な作業が可能な栽培管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・AI解析に基づくスマートグラスによる摘粒作業の効率化 ・AIによる出荷時の等級判定の平準化 ・自動施肥かん水システムによる省力化及び収量向上 ・ドローンやセンサー活用によるリアルタイムセンシング 	世羅郡 世羅町